

当面の技術対策（畜産編）

令和元年 9 月 1 日

発行：ゆとりみらい 2 1 農業推進協議会指導部会

1. サイレージ用とうもろこしの登熟状況

本年のサイレージ用とうもろこしの生育は順調に推移しています。乳熟期は、平年に比べて3日早く経過しています。今後、平年並に気温が推移すると黄熟期は、平年並～平年よりやや早くなることが想定されます(表1)。

表1 黄熟期の到達予測（大樹アメダス）

生育 ステージ	絹糸抽出期（8月1日） からの単純積算温度		黄熟期到達 予測日	平年の 黄熟期
	登熟の目安*	8月25日まで の積算温度**		
黄熟期	925～975℃	476℃	9月21日	9月22日

※ パイオニアハイブリッドジャパン資料

** 絹糸抽出期（8月1日）から8月25日までの平均気温の積算値

2. 収穫作業の計画について

同じ品種であっても、は種時期、ほ場の条件（マルチの有無、透排水性など）、倒伏の有無などにより登熟の早さが異なります。また、スス紋病が発生しているほ場も見られます。ほ場を巡回して、子実の登熟程度や茎葉の枯れ上がり具合、スス紋病の罹病程度を確認し、収穫に向けた作業計画を立てましょう。

3. 2番草収穫後のギシギシ類の駆除

ギシギシ類が目立っている草地があります。ギシギシの葉が手のひらくらいの大きさに展開し、草丈15cm～20cmに生長した頃が除草剤散布の目安となります。

表2 農薬の使用基準

薬剤名	使用時期		10a 当たり 使用量	使用 回数	注意事項
アージ ラン液 剤	新播 草地	ギシギシ類 (本葉3～ 4葉期)	200～300ml	1	<ul style="list-style-type: none"> ・秋期散布は最終採草後に行い、散布後の14日間は放牧を行わない ・採草直後の散布は避ける ・夏期及び秋期播種の草地への散布は避ける
	経年 草地	最終採草後	経年秋処理 300～400ml	1	<ul style="list-style-type: none"> ・採草・放牧直後の散布は避ける。散布後の14日間は放牧・採草は行わない ・高温時または降雨前の散布は避ける ・ハーモニー75DF水和剤との重複散布は避ける
ハーモ ニー 75DF 水和剤	新播 草地	夏は種草地 の定着後 (採草21日 前まで)	0.5～1g	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファルファ経年草地及びイネ科混播草地に限る ・クローバーに対する薬害が著しい ・処理当該番草の刈り取り及び放牧は散布後21日間は行わない
	経年 草地	夏及び秋処 理(採草21 日前まで)	3g	1	<ul style="list-style-type: none"> ・散布後の飛散や流出によって有用植物に薬害が生ずることのないよう十分注意して散布する ・使用後のタンク等の洗浄は他の作物に対する薬害の原因にならないよう必ず専用の洗浄剤で良く洗浄して下さい